

交通手段

◆車

両津港から車で約 50 分
 小木港から車で約 70 分

◆路線バス

新潟交通佐渡
 七浦海岸線または本線
 「佐渡版画村」停留所下車
 徒歩1分（ただし、本線は期間限定で土日のみ停車）

◆新潟からお越しの方

両日とも午前10時50分開始の茶席券に、佐渡汽船乗船券とバス代がセットになった茶席券をご用意します。
 新潟からお越しの方は、この茶席券を申し込み、ご利用ください。
 上記の茶席券は、(一社)佐渡観光交流機構が販売します。

お申込

(一社)佐渡観光交流機構

TEL:0259-67-7995

また、新潟からお越しの方で、上記以外の茶席券を購入される方は、ご自分で佐渡汽船乗船券、会場までのお車の手配をお願いします。

◆シャトルバス（無料）

当日、下図のとおり、8:45以降、随時シャトルバスを運行します。

会場周辺の駐車場が狭いため、なるべくシャトルバス等をご利用くださるようお願いいたします。



会場周辺図

P 駐車場
 ● シャトルバス停車場
 - - - シャトルバス運行ルート

佐渡鈍翁茶会

—2018—



提供：鈍翁in西海子

開催日 平成30年10月20日(土)・21日(日)

場所 佐渡奉行所(相川広間町1番地1)

主催 益田孝翁顕彰事業実行委員会

共催 佐渡市 佐渡市教育委員会

総合監修 (一社)茶道文化振興会

理事長 裏千家教授 北見 宗幸

協力 株式会社TSUBAKI

(一社)茶道裏千家淡交会佐渡支部

(一社)表千家同門会新潟県支部佐渡地区

佐渡青年会議所 新潟交通佐渡株式会社

佐渡汽船株式会社

(一社)佐渡観光交流機構

問合せ先

〒952-1311

新潟県佐渡市八幡 2041 番地

(佐渡博物館内)

益田孝翁顕彰事業実行委員会事務局

電話・FAX 0259-52-2447



ご挨拶

佐渡は優れた風土と豊かな歴史・文化に恵まれ、多くの偉人・先駆者を育ててきました。

益田孝もその中の一人です。

益田孝は、相川出身で近代日本を支えた代表的総合商社・旧三井物産の初代社長です。また、茶人としても高名で鈍翁と号し、「千利休以来の大茶人」と称されました。

平成30年は益田孝の生誕170周年および明治150年という節目の年となります。そこで、益田孝の功績を称えるため、益田孝の父、益田鷹之助が務めていた佐渡奉行所において、佐渡鈍翁茶会を開催します。

「鈍翁」生誕の地である相川での茶会開催をきっかけに、皆様に郷土の偉人の一人である益田孝の人柄と功績に触れていただければと存じます。

関係者一同、皆様のご来訪を心よりお待ちしております。

平成30年8月吉日

益田孝翁顕彰事業実行委員会
実行委員長 佐渡市副市長 伊藤 光



益田 孝(鈍翁)について

益田孝(1848~1938)は、佐渡の相川で生まれました。幼名は徳之進といい、父の鷹之助が佐渡奉行所に地役人として務めていたことから、数え8歳まで佐渡で過ごしました。

明治維新後は実業家となり、明治9年(1876)に28歳という若さで、総合商社・三井物産(旧三井物産)の初代社長に就任しました。また、同じ年に日本経済新聞の前身である「中外物価新報」を創刊し、明治・大正時代の日本経済の発展に指導的な役割を担いました。

一流の経済人であると同時に茶人としても高名で「鈍翁」と号し、「千利休以来の大茶人」と称されました。また、日本古美術の熱心な蒐集家しゅうしゅうかでもありました。海外に流出していこうとする日本の仏教美術などの多くを、私財を投じて購入し、あるいは茶の湯の伝統を愛し、茶室の造営にも熱心に取り組み、日本美術の保護に大きな役割を果たしました。

昭和13年(1938)に91歳で他界しました。

茶会内容

【茶席】 9:30~最終受付12:40

薄茶席

(一社) 茶道裏千家淡交会佐渡支部

立礼席

(一社) 表千家同門会新潟県支部佐渡地区

【展観席】

9:30~16:00
鈍翁ゆかりの茶道具等

【点心席】

11:00~16:00
茶席2席のほかに
点心(弁当)が付きます。



茶券

5,000円

※茶席2席・展観席・点心(弁当)付き